



2020 年度秋学期

「オンライン授業に関する学生対象アンケート」

集計結果報告書

法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

2021 年 4 月

1. はじめに

新型コロナウイルスの感染流行が依然として終息しない中、法政大学では2020年度春学期に引き続き秋学期についても全学的にオンライン授業を実施してきましたが、一部では対面授業が再開されました。こうした状況下における学生の通学日数と対面授業数、オンライン授業全般の春学期の印象、春学期から秋学期にかけての変化、オンライン授業で直面した困難を把握し、今後の教育改善や学習支援に活かすことを目的として、教育開発支援機構教育開発・学習支援センターでは「オンライン授業に関する学生対象アンケート」を実施しました。アンケート実施期間は秋学期の授業が終了した直後の2021年1月25日（月）～2月5日（金）、アンケート対象は全学部生・大学院生（通学課程の科目を履修している通信教育部生を含む）、調査方法としてはGoogleフォームを用いて実施しました。回答数は3,773名（日本語3,742名、英語31名/回答率：約13.1%）であり、別途授業改善アンケートを実施したこともあり、春学期に比べると大幅に回答数が減少しました。

2. 回答者の属性

（1）学年

回答者の学年別構成比は、次の図のようになります。1年生が41%、2年生が27%、3年生が16%、4年生が8%、大学院生が8%でした。下級生の回答割合が高い傾向があります。

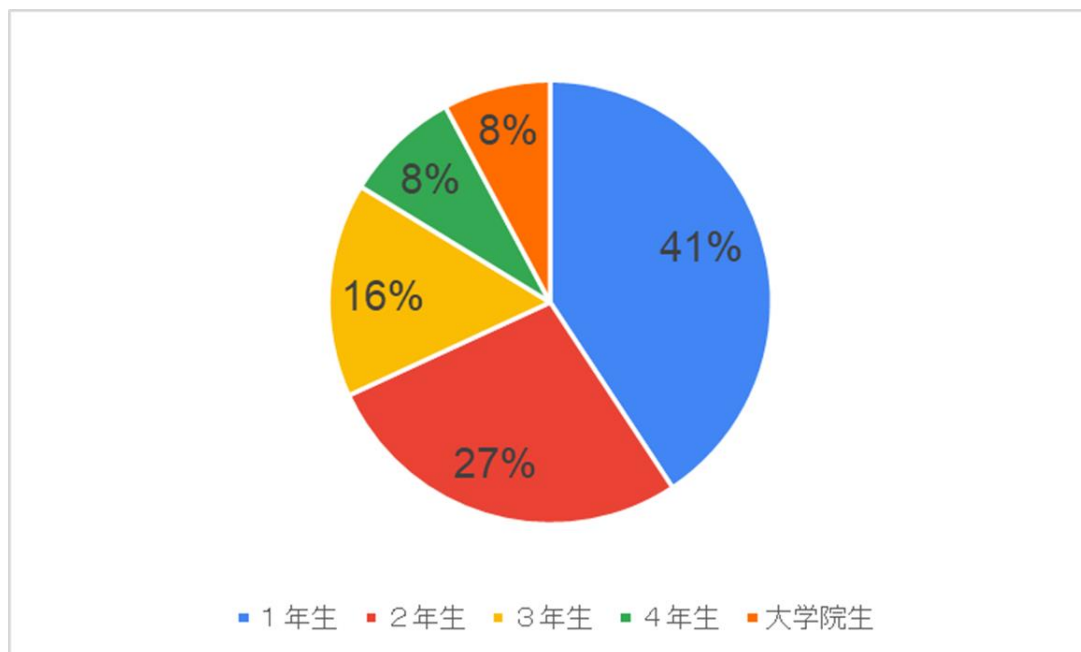


図1 回答者の学年別構成比

(2) 所属

回答者の所属別の回答数は、次の表1(学部)および表2(大学院)のようになります。アンケート調査の標準誤差は母集団の大きさが27,000、標本の大きさ(回答数)が3,400、回答比率が50%、信頼水準95%のとき1.57%になります。厳密に言えば無作為抽出の結果ではありませんが、分析が可能な回答数が得られたと考えられます。

表1 回答者の所属(学部)

法学部	453
文学部	380
経営学部	336
国際文化学部	174
人間環境学部	198
キャリアデザイン学部	123
デザイン工学部	171
GIS(グローバル教養学部)	60
経済学部	400
社会学部	338
現代福祉学部	141
スポーツ健康学部	129
情報科学部	87
理工学部	315
生命科学部	140
計	3445

表2 回答者の所属(大学院, その他)

人文科学研究科	65
国際文化研究科	9
経済学研究科	10
法学研究科	5
政治学研究科	11
社会学研究科	5
経営学研究科	23
政策創造研究科	25
デザイン工学研究科	25
公共政策研究科	27
キャリアデザイン学研究科	10
人間社会研究科	12
スポーツ健康学研究科	6
情報科学研究科	8
理工学研究科	36
法務研究科	10
イノベーション・マネジメント研究科	35
その他	6
計	328

3. オンライン授業で直面した困難

(1) 全体を通じた秋学期オンライン授業で直面した困難

秋学期オンライン授業についての意見について、以下のように尋ねました。「オンライン授業を継続して受講するに当たり、以下の各項目における困難はありましたか？（複数選択可）」。その結果が図2です。全体を通じてみた場合、最も多かったのは「交友関係」で55.6%でした。ついで、「学習意欲の維持」の48.2%となります。

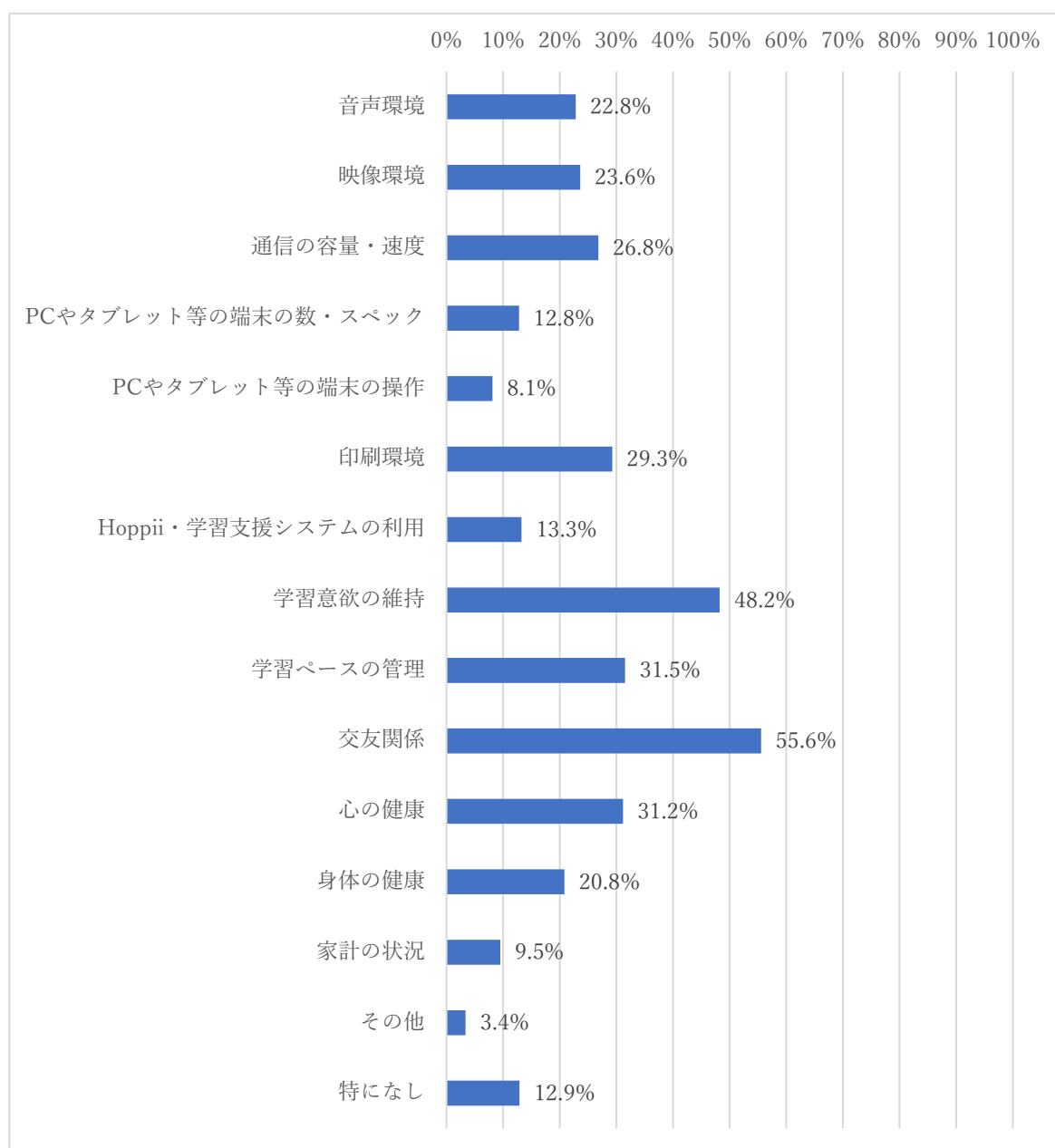


図2 「オンライン授業を継続して受講するに当たり、以下の各項目における困難はありましたか？（複数選択可）」という質問の回答結果

(2) 学年別にみた秋学期オンライン授業で直面した困難

秋学期オンライン授業で直面した困難について、学年別でみた結果が図3です。大学院生を除く全学年で、ほぼ半数が②交友関係の構築・維持と③学習意欲の維持を挙げています。また、学年が上がるにつれて「印刷環境」と「通信の容量・速度」を回答する学生の割合が多くなる傾向にありました。まず、全体を通じて7割前後と最も多かった「交友関係」に注目します。1年生と2年生以上では異なる傾向があります。1年生は「交友関係」の割合が最も多いのですが、2年生は「学習意欲の維持」が最も多い結果となりました。これは2年生にとって1年次に交友関係をすでに築いている場合が多いため、このような結果になったと推測できます。次に、「通信の要領・速度」、「PCやタブレット等の端末の数・スペック」や「印刷環境」に注目します。これらは2年生以上の方が多く、2年生以上は交友関係よりも学習環境に関する困難に直面していることが分かります。

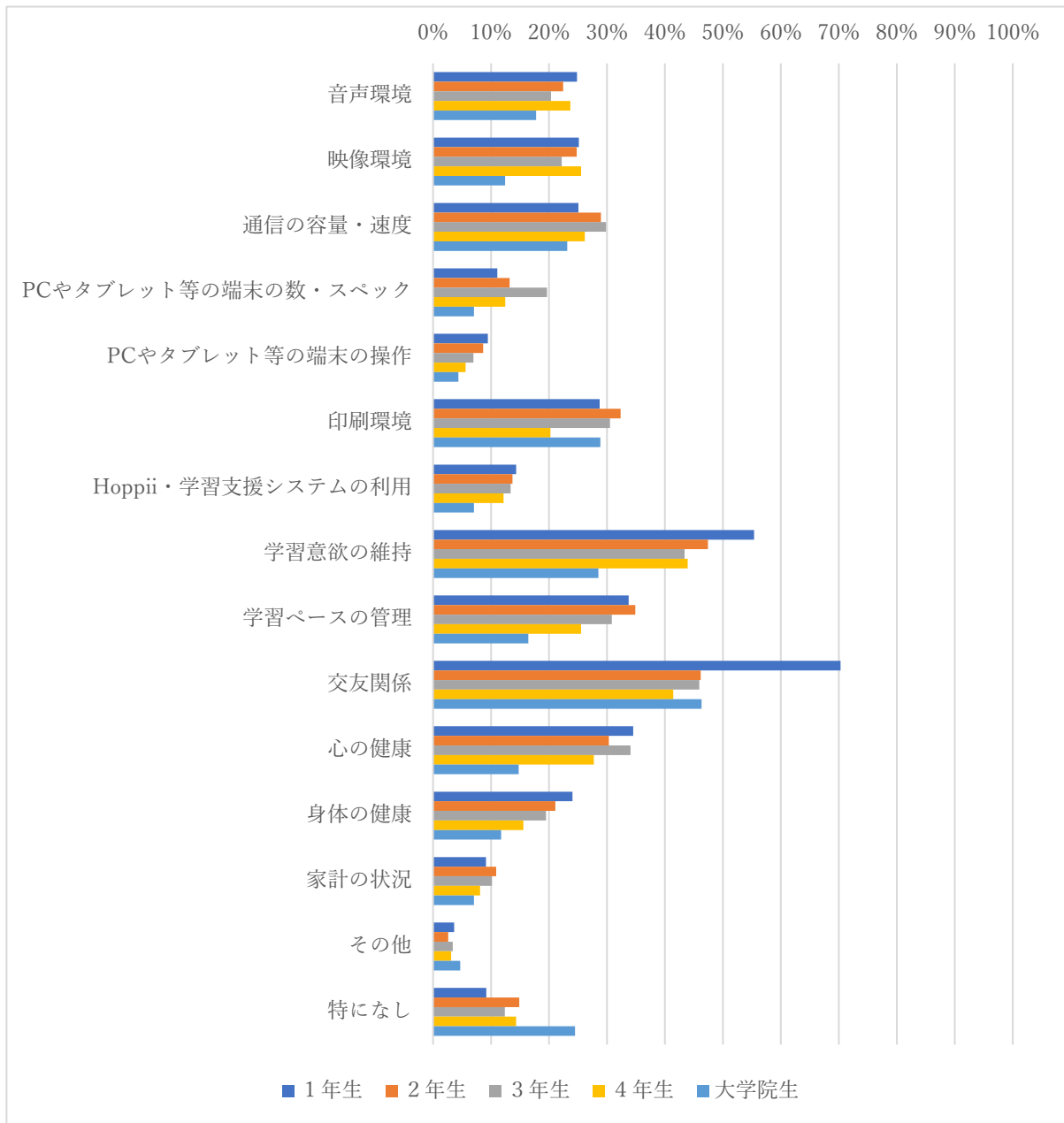


図3 秋学期オンライン授業で直面した困難についての学年別集計結果

4. 通学日数と対面授業日数

(1) 学年別にみた秋学期の通学日数

図4をみると、全体では通学日数0日が約73%となっており、4人に3人が秋学期も大学に登校できていない状態にあったことがわかります。ただし、回答者の40%が1年生となっており、学年が上がるにつれて回答者数が少なくなっていることが結果に影響していると考えられることに注意が必要です。

学年別にみても、全ての学年で通学日数0日が最も多くなっています。秋学期は一部の授業科目で対面授業が行われましたが、ゼミや演習など限定的であったことが影響していると考えられます。1～2年生では通学日数0～2日が多く、3年生以上になると通学日数3日以上が増えていきます。1～2年生は大教室で受講する講義科目が中心である一方、3年生以上は卒業研究等で大学に行かざるを得ないという事情が影響したものと推測されます。

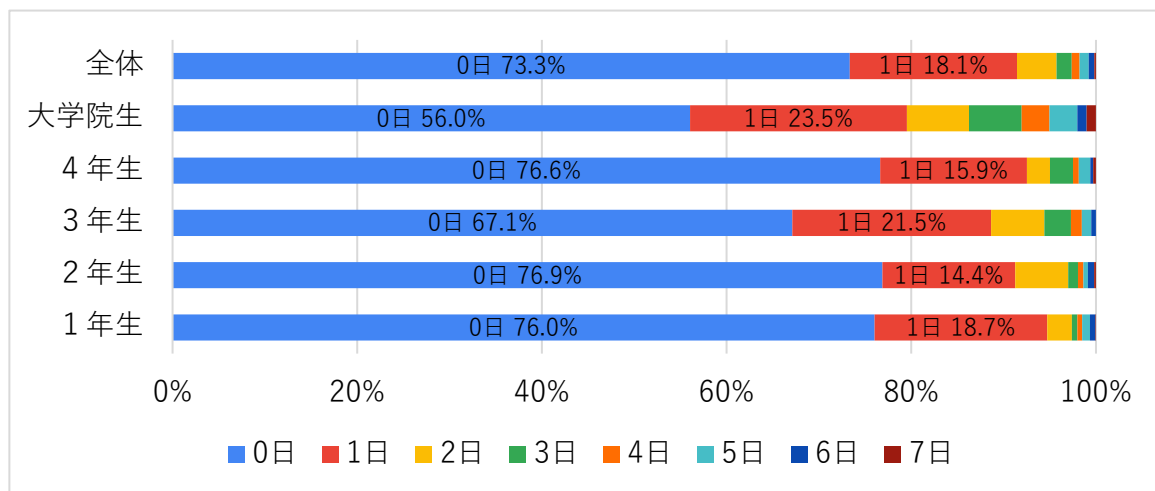


図4 学年別の週あたり通学日数

(2) 学年別にみた秋学期の対面授業日数

続いて、秋学期における週あたり対面授業日数について見ていきます。秋学期の週あたり対面授業の平均的な受講日数は、全体の80%が「0日」と回答しています（図5）。これを学年別でも、全ての学年で「0日」が最も多くを占める結果となりました。これは、回答者の7割がゼミや研究室に配属されていない1～2年生であったことが影響要因の一つと考えられます。また、3～4年生でも対面授業が「0日」と回答している人が多いことも踏まえれば、秋学期においてもなお、対面授業を受講できていない状況にあった学生が多数いたと言えます。

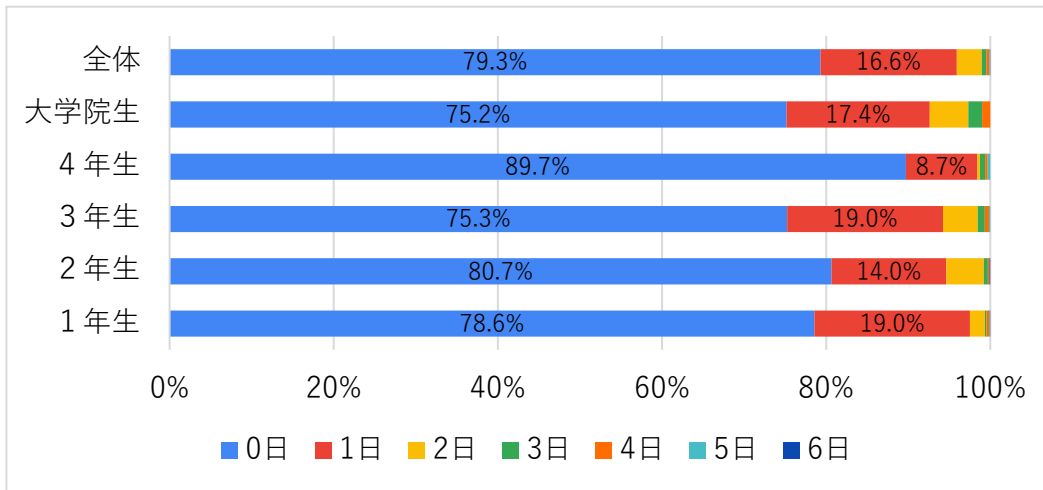


図5 学年別の週あたり対面授業日数

(3) 通学日数別でみる秋学期オンライン授業で直面した困難

アンケート調査結果をみると、通学日数0日～2日が全体の95%程度を占めています。そのため、「0日」「1日」「2日以上」の3つにカテゴリーを区分しました。そして、「オンライン授業を継続するにあたって直面した困難な点」とのクロス集計を実施しました。図6をみると、全体的な傾向として、①心身の健康、②交友関係の構築・維持、③学習意欲の維持、④音声や映像、容量や速度などの通信環境の4項目を挙げる学生が、学年を問わず、多く見られました。

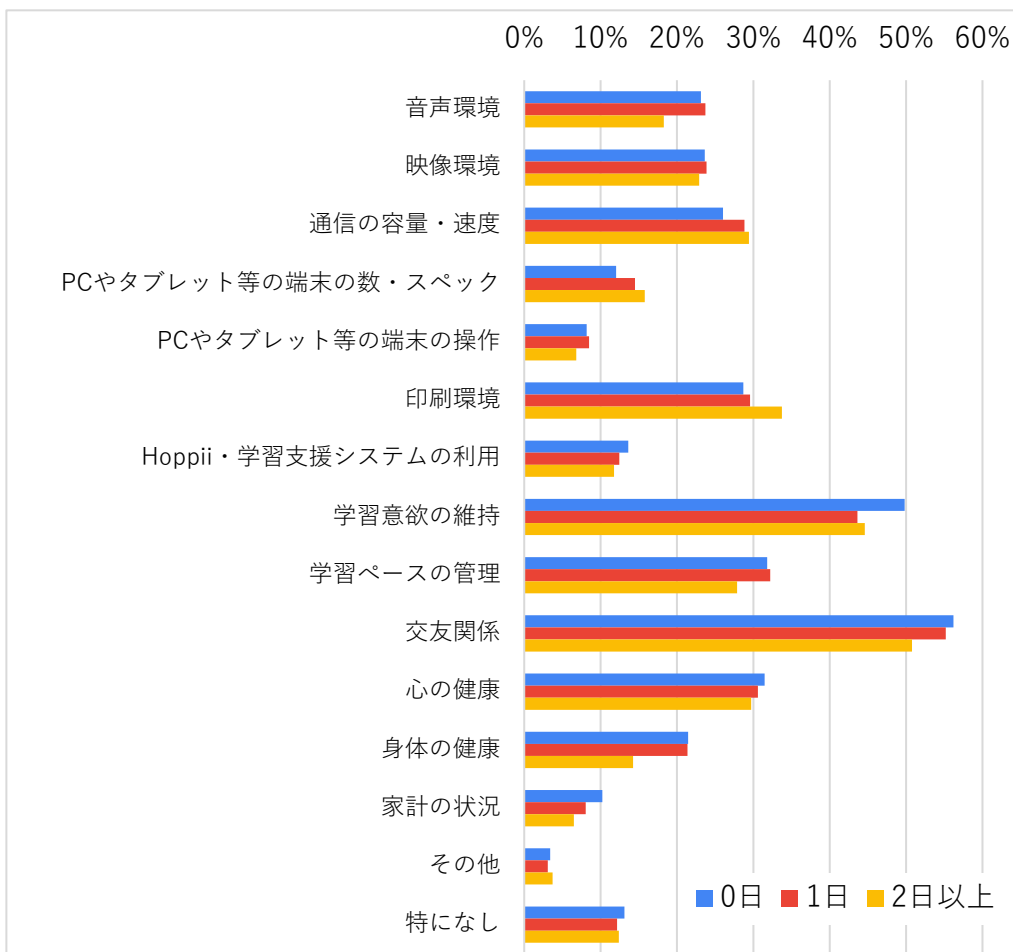


図6 通学日数別でみたオンライン授業で直面した困難

(4) 対面授業日数別でみる秋学期オンライン授業で直面した困難

対面授業日数の調査結果をみると、0日～2日で回答のほぼ100%を占めており、週3日以上はわずか1%です。そのため、分類カテゴリーを0日・1日・2日以上の3区分にしました。そのうえで、「オンライン授業を継続するにあたって直面した困難な点」とのクロス集計を実施しました。

図7から全体的な傾向をみると、①交友関係の構築・維持と②学習意欲の維持の2項目について困難を感じる学生が、学年を問わず、多くなっています。また、3割前後の学生が「通信の容量・速度」と「印刷環境」の2項目を困難があると回答しています。なお、学年によって顕著な傾向は見られませんでした。

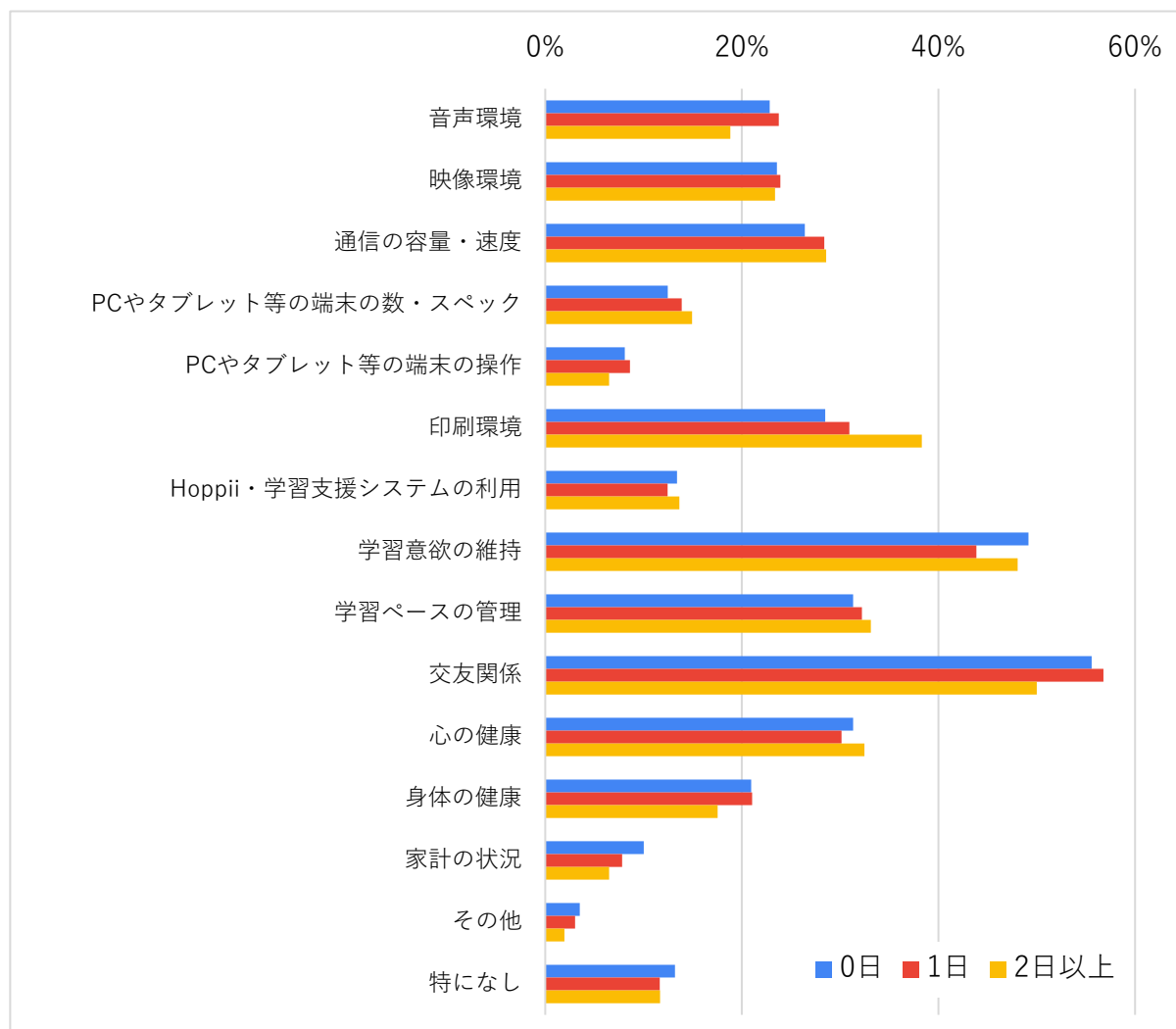


図7 対面授業日数別でみたオンライン授業で直面した困難

(5) 学部別にみた秋学期の通学日数

学年別にみると、全ての学部で通学日数0日が最も多くなっています。実習や演習が多い場合、通学日数が多い結果となっています（表3）。

表3 学部別にみた秋学期の通学日数

	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	計
法学部	89.4%	8.2%	1.5%	0.0%	0.2%	0.4%	0.2%	0.0%	100.0%
文学部	73.2%	19.7%	3.2%	1.3%	0.8%	1.3%	0.3%	0.3%	100.0%
経済学部	82.3%	14.5%	0.8%	0.3%	0.0%	1.3%	0.8%	0.3%	100.0%
社会学部	79.3%	16.6%	2.4%	0.3%	0.0%	1.2%	0.3%	0.0%	100.0%
経営学部	79.5%	17.0%	1.2%	0.9%	0.6%	0.6%	0.3%	0.0%	100.0%
国際文化学部	79.9%	17.2%	1.1%	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%
人間環境学部	90.9%	4.0%	1.5%	0.5%	1.0%	0.0%	2.0%	0.0%	100.0%
現代福祉学部	47.5%	38.3%	12.1%	0.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
情報科学部	94.3%	3.4%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
キャリアデザイン学部	63.4%	30.1%	4.1%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
デザイン工学部	31.6%	39.2%	25.1%	3.5%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%
理工学部	79.7%	16.5%	1.3%	1.0%	0.3%	0.3%	0.6%	0.3%	100.0%
生命科学部	57.9%	31.4%	4.3%	2.1%	1.4%	2.1%	0.7%	0.0%	100.0%
GIS（グローバル教養学部）	78.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	1.7%	0.0%	100.0%
スポーツ健康学部	38.8%	19.4%	22.5%	8.5%	4.7%	2.3%	3.9%	0.0%	100.0%
大学院	58.2%	21.3%	5.8%	6.4%	3.7%	2.4%	0.9%	1.2%	100.0%
全体	73.3%	18.1%	4.3%	1.6%	0.8%	1.0%	0.6%	0.2%	100.0%

(6) 学部別にみた秋学期の対面授業日数

続いて、秋学期における週あたり対面授業日数について見ていきます。これを学部別でも、全ての学年で「0日」が最も多くなっています。実習や演習が多い場合、対面授業日数も多いことが分かります（表4）。

表4 学部別にみた秋学期の対面授業日数

	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	計
法学部	92.7%	6.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
文学部	81.3%	15.5%	2.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
経済学部	85.5%	14.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
社会学部	82.5%	15.4%	1.2%	0.3%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	100.0%
経営学部	83.3%	15.8%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	100.0%
国際文化学部	82.8%	15.5%	0.6%	0.0%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%
人間環境学部	94.4%	4.5%	0.5%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
現代福祉学部	48.9%	39.7%	9.9%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
情報科学部	98.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
キャリアデザイン学部	64.2%	31.7%	2.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
デザイン工学部	40.4%	38.6%	20.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
理工学部	88.9%	10.5%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
生命科学部	65.0%	32.1%	1.4%	0.0%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	100.0%
GIS（グローバル教養学部）	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
スポーツ健康学部	47.3%	24.0%	20.2%	5.4%	2.3%	0.8%	0.0%	0.0%	100.0%
大学院	75.9%	16.8%	4.3%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体	79.3%	16.6%	3.0%	0.5%	0.4%	0.1%	0.1%	0.0%	100.0%

(7) 小括

以上の結果を簡潔にまとめると、次の2点を指摘することができます。ただし、アンケート調査の回答者の多くが1～2年生であった点に注意してください。第1に、秋学期でも多くの学生が大学へ通学できず、対面授業の受講もできていませんでした。第2に、「大学への通学日数」「対面授業の日数」別でも、交友関係・学習意欲の維持・学習ベースの管理という3つで困難を感じる学生が多いことがわかりました。

4. オンライン授業全般の春学期の印象、春学期から秋学期にかけての変化

(1) オンライン授業全般の春学期の印象と春学期から秋学期にかけての変化のクロス表

まず、春学期のオンライン授業の印象を捉えるために「春学期を振り返って、春学期のオンライン授業における、以下の各項目に対するあなたの印象はどうでしたか？」と尋ねました。質問は以下の10項目です。

- 「課題による心身の負担は少なかった」
- 「課題等に対するフィードバックがあった」
- 「教員への質問がしやすかった」
- 「学生間の意見交換がしやすかった」
- 「配布資料・教材はわかりやすかった」
- 「Zoom等のWEB会議ツールを活用していた」
- 「授業の到達目標や課題の目的に関する説明があった」
- 「成績評価方法に関する説明があった」
- 「通信・端末等におけるトラブル対応は適切だった」
- 「Hoppii・学習支援システムは使いやすかった」

回答の選択肢は以下の6つです。

- 「そう思う」
- 「いくらかそう思う」
- 「どちらともいえない」
- 「あまりそう思わない」
- 「そう思わない」
- 「わからない」

次に、春学期から秋学期の変化を捉えるために「秋学期のオンライン授業における以下の各項目は、春学期からどのように変化しましたか？」と尋ねました。質問は上記の10項目、回答の選択肢は以下の6つです。

- 「かなり改善」
- 「やや改善」
- 「変わらない」
- 「やや悪化」
- 「かなり悪化」
- 「わからない」

以下では、春学期の印象と春学期から秋学期の変化を項目ごとに見ていきます。最初の4つの項目では春学期、秋学期ともに否定的な回答が46.4-66.4%と大きな割合を取り、残りの6つの項目では9.9-24.6%と4分の1以下の割合を取ることが明らかになります。

(2) 課題による心身の負担

表5は課題による心身の負担に関する質問の回答結果をまとめたものです。春学期において「課題による心身の負担は少なかった(か)」という質問に対する回答は各行に含まれており、「あまりそう思わない」、「そう思わない」という回答が6割以上(26.9+34.2=61.1%)に及びます。春学期から秋学期の変化の回答は各列に含まれており、「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答が7割以上に及びます。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の占める割合は46.4%に及びます。一方、春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「かなり改善」、「やや改善」という回答の占める割合は14.4%でした。

表5 課題による心身の負担に関する質問の回答結果

春学期の印象／変化	かなり改善	やや改善	変わらない	やや悪化	かなり悪化	わからない	総計
そう思う	2.8%	1.5%	5.3%	0.6%	0.3%	0.3%	10.8%
いづらかそう思う	0.8%	4.4%	6.5%	1.6%	0.6%	0.1%	14.0%
どちらともいえない	0.3%	2.9%	8.1%	1.4%	0.3%	0.1%	13.1%
あまりそう思わない	0.6%	6.3%	14.3%	4.7%	0.9%	0.2%	26.9%
そう思わない	0.8%	6.7%	14.7%	6.1%	5.8%	0.2%	34.2%
わからない	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%	0.1%	0.4%	0.9%
総計	5.4%	21.8%	49.2%	14.4%	7.9%	1.2%	100.0%

(3) 課題等に対するフィードバック

表6は課題等に対するフィードバックに関する質問の回答結果をまとめたものです。春学期において「課題等に対するフィードバックがあった(か)」という質問に対する回答のうち、「あまりそう思わない」、「そう思わない」という回答が55.2%を占めます。また春学期から秋学期の変化の回答が、「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答が76.7%に及びます。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の占める割合は49.9%に及びます。

表6 課題等に対するフィードバックに関する質問の回答結果

春学期の印象／変化	かなり改善	やや改善	変わらない	やや悪化	かなり悪化	わからない	総計
そう思う	2.8%	1.3%	3.9%	0.1%	0.1%	0.2%	8.3%
いづらかそう思う	0.8%	5.4%	9.4%	0.6%	0.1%	0.2%	16.6%
どちらともいえない	0.2%	3.2%	11.3%	0.9%	0.1%	0.2%	16.0%
あまりそう思わない	0.3%	4.9%	23.8%	3.3%	0.5%	0.2%	33.0%
そう思わない	0.2%	2.5%	16.5%	2.9%	2.9%	0.2%	25.2%
わからない	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.1%	0.5%	1.0%
総計	4.4%	17.4%	65.2%	7.8%	3.7%	1.5%	100.0%

(4) 教員への質問のしやすさ

表7は教員への質問のしやすさに関する質問の回答結果をまとめたものです。春学期において「教員への質問がしやすかった(か)」という質問に対する回答のうち、「あまりそう思わない」、「そう思わない」という回答が57.6%を占めます。また春学期から秋学期の変化の回答が、「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答が79.9%に及びます。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の占める割合は50.9%に及びます。

表7 教員への質問のしやすさに関する質問の回答結果

春学期の印象/変化	かなり改善	やや改善	変わらない	やや悪化	かなり悪化	わからない	総計
そう思う	2.9%	1.1%	4.5%	0.1%	0.2%	0.2%	8.9%
いづらかそう思う	0.9%	4.4%	10.0%	0.2%	0.0%	0.2%	15.6%
どちらともいえない	0.3%	2.7%	13.1%	0.2%	0.1%	0.3%	16.6%
あまりそう思わない	0.2%	3.4%	21.6%	2.0%	0.2%	0.2%	27.6%
そう思わない	0.1%	2.5%	21.8%	2.5%	2.8%	0.2%	30.0%
わからない	0.0%	0.1%	0.5%	0.1%	0.1%	0.5%	1.2%
総計	4.5%	14.2%	71.5%	5.0%	3.4%	1.4%	100.0%

(5) 学生間の意見交換のしやすさ

表8は学生間の意見交換のしやすさに関する質問の回答結果をまとめたものです。春学期において「学生間の意見交換がしやすかった(か)」という質問に対する回答のうち、「あまりそう思わない」、「そう思わない」という回答が74.6%を占めます。また春学期から秋学期の変化の回答を見ると、「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答が82.7%に及びます。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の占める割合は66.4%に及びます。

表8 学生間の意見交換のしやすさに関する質問の回答結果

春学期の印象/変化	かなり改善	やや改善	変わらない	やや悪化	かなり悪化	わからない	総計
そう思う	1.6%	0.3%	1.3%	0.0%	0.1%	0.1%	3.4%
いづらかそう思う	0.7%	2.3%	3.7%	0.1%	0.0%	0.1%	6.9%
どちらともいえない	0.5%	2.6%	8.9%	0.3%	0.1%	0.1%	12.4%
あまりそう思わない	0.3%	3.7%	20.4%	2.0%	0.2%	0.2%	26.7%
そう思わない	0.1%	3.3%	36.2%	2.9%	4.8%	0.6%	47.9%
わからない	0.0%	0.2%	1.5%	0.1%	0.3%	0.6%	2.7%
総計	3.3%	12.5%	71.9%	5.3%	5.5%	1.5%	100.0%

(6) 配布資料・教材のわかりやすさ

表9は配布資料・教材はわかりやすさに関する質問の回答結果をまとめたものです。春学期において「配布資料・教材はわかりやすかった(か)」という質問に対する回答のうち、「そう思う」、「いづらかそう思う」という回答は44.7%、一方、「あまりそう思わない」、「そう思わない」という回答は28.0%であり、肯定的な前者が、否定的な後者より16.7%

多くなっています。また春学期から秋学期の変化の回答を見ると、「かなり改善」、「やや改善」という回答は23%、一方、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答が7.2%であり、肯定的な前者が上回りました。しかし、「変わらない」が68.2%で多数となっています。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の占める割合は、24.6%であり、上述の4項目の数値と比較すれば小さいですが、それでも4分の1であることに注意する必要があります。

表9 配布資料・教材はわかりやすさに関する質問の回答結果

春学期の印象／変化	かなり改善	やや改善	変わらない	やや悪化	かなり悪化	わからない	総計
そう思う	3.9%	1.8%	7.6%	0.1%	0.1%	0.2%	13.7%
いづらかそう思う	1.4%	8.2%	20.6%	0.5%	0.0%	0.2%	30.9%
どちらともいえない	0.3%	4.4%	20.4%	0.7%	0.1%	0.2%	26.1%
あまりそう思わない	0.1%	2.3%	12.9%	1.7%	0.3%	0.1%	17.5%
そう思わない	0.1%	0.7%	6.1%	1.6%	1.9%	0.2%	10.6%
わからない	0.0%	0.1%	0.5%	0.1%	0.1%	0.5%	1.2%
総計	5.9%	17.5%	68.2%	4.6%	2.6%	1.3%	100.0%

(7) Zoom等のWEB会議ツールの活用

表10はZoom等のWEB会議ツールの活用に関する質問の回答結果をまとめたものです。春学期において「Zoom等のWEB会議ツールを活用していた(か)」という質問に対する回答のうち、「そう思う」、「いづらかそう思う」という回答は70.1%に及びます。春学期から秋学期の変化の回答は、「変わらない」が52.7%となっていますが、「かなり改善」、「やや改善」という回答も41.4%を占めます。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の占める割合は、9.0%であり、10項目のうち、この項目が最も小さい値を取っています。

表10 Zoom等のWEB会議ツールの活用に関する質問の回答結果

春学期の印象／変化	かなり改善	やや改善	変わらない	やや悪化	かなり悪化	わからない	総計
そう思う	8.5%	6.5%	18.4%	0.3%	0.2%	0.4%	34.3%
いづらかそう思う	3.4%	12.6%	18.6%	0.9%	0.1%	0.2%	35.8%
どちらともいえない	1.0%	4.1%	8.8%	0.7%	0.1%	0.2%	14.9%
あまりそう思わない	0.9%	3.1%	4.5%	1.1%	0.2%	0.1%	9.9%
そう思わない	0.4%	0.8%	2.1%	0.4%	0.7%	0.0%	4.5%
わからない	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	0.3%	0.7%
総計	14.2%	27.2%	52.7%	3.3%	1.3%	1.2%	100.0%

(8) 授業の到達目標や課題の目的に関する説明

表 11 は授業の到達目標や課題の目的に関する説明に関する質問の回答結果をまとめたものです。春学期において「授業の到達目標や課題の目的に関する説明があった(か)」という質問に対する回答のうち、「そう思う」、「いくらかそう思う」という回答は 46.6%に及びます。春学期から秋学期の変化の回答は、「変わらない」が 70.5%で多数となっています。「かなり改善」、「やや改善」という回答は 21.8%で、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の 6.1%という値を上回りました。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の占める割合は、24.3%であり、この項目に関して否定的な回答が 4分の1を占めることに注意する必要があります。

表 11 授業の到達目標や課題の目的に関する説明の有無に関する質問の回答結果

春学期の印象/変化	かなり改善	やや改善	変わらない	やや悪化	かなり悪化	わからない	総計
そう思う	4.4%	2.0%	9.4%	0.2%	0.0%	0.2%	16.1%
いくらかそう思う	1.7%	7.4%	20.7%	0.5%	0.0%	0.3%	30.5%
どちらともいえない	0.4%	3.3%	19.7%	0.7%	0.1%	0.3%	24.6%
あまりそう思わない	0.1%	1.8%	13.0%	1.5%	0.3%	0.1%	16.8%
そう思わない	0.1%	0.5%	6.7%	0.8%	1.9%	0.2%	10.2%
わからない	0.0%	0.1%	1.0%	0.1%	0.1%	0.6%	1.8%
総計	6.7%	15.1%	70.5%	3.8%	2.4%	1.6%	100.0%

(9) 成績評価方法に関する説明

表 12 は成績評価方法に関する説明についての質問の回答結果をまとめたものです。春学期において「成績評価方法に関する説明があった(か)」という質問に対する回答のうち、「そう思う」、「いくらかそう思う」という回答は 70.0%に及びます。春学期から秋学期の変化の回答は、「変わらない」が 67.9%で多数となっています。「かなり改善」、「やや改善」という回答は 24.9%で、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の 5.7%という値を上回りました。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の占める割合は、11.5%であり、10 ある項目の中で、この項目が 2 番目に小さい値を取っています。

表 12 成績評価方法に関する説明についての質問の回答結果

春学期の印象/変化	かなり改善	やや改善	変わらない	やや悪化	かなり悪化	わからない	総計
そう思う	6.1%	4.3%	20.4%	0.2%	0.1%	0.2%	31.2%
いくらかそう思う	1.4%	9.3%	27.2%	0.6%	0.1%	0.2%	38.8%
どちらともいえない	0.1%	2.3%	11.9%	0.8%	0.4%	0.3%	15.8%
あまりそう思わない	0.1%	1.0%	5.8%	1.4%	0.4%	0.2%	8.8%
そう思わない	0.1%	0.2%	2.3%	0.7%	0.9%	0.0%	4.3%
わからない	0.0%	0.1%	0.4%	0.0%	0.1%	0.6%	1.1%
総計	7.8%	17.1%	67.9%	3.8%	1.9%	1.5%	100.0%

(10) 通信・端末等におけるトラブル対応

表 13 は通信・端末等におけるトラブル対応に関する質問の回答結果をまとめたものです。春学期において「通信・端末等におけるトラブル対応は適切だった(か)」という質問に対する回答のうち、「そう思う」、「いづらかそう思う」という回答は 47.0%に及びます。春学期から秋学期の変化の回答は、「変わらない」が 62.5%で多数となっています。「かなり改善」、「やや改善」という回答は 27.5%で、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の 7.4%という値を上回りました。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の占める割合は、18.6%です。

表 13 通信・端末等におけるトラブル対応に関する質問の回答結果

春学期の印象/変化	かなり改善	やや改善	変わらない	やや悪化	かなり悪化	わからない	総計
そう思う	5.5%	2.1%	9.3%	0.2%	0.1%	0.1%	17.3%
いづらかそう思う	1.7%	9.0%	18.3%	0.6%	0.1%	0.2%	29.8%
どちらともいえない	0.6%	5.1%	18.7%	0.9%	0.3%	0.4%	25.9%
あまりそう思わない	0.2%	2.3%	9.1%	2.0%	0.4%	0.1%	14.0%
そう思わない	0.1%	0.7%	4.4%	1.0%	1.7%	0.1%	8.1%
わからない	0.2%	0.2%	2.8%	0.1%	0.0%	1.7%	5.0%
総計	8.2%	19.3%	62.5%	4.7%	2.6%	2.6%	100.0%

(11) Hoppii・学習支援システムの使いやすさ

表 14 は Hoppii・学習支援システムの使いやすさに関する質問の回答結果をまとめたものです。春学期において「Hoppii・学習支援システムは使いやすかった(か)」という質問に対する回答のうち、「そう思う」、「いづらかそう思う」という回答は 56.3%に及びます。春学期から秋学期の変化の回答は、「変わらない」が 71.3%で多数となっています。「かなり改善」、「やや改善」という回答は 22.2%で、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の 5.1%という値を上回りました。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答の占める割合は、17.5%です。

表 14 Hoppii・学習支援システムの使いやすさに関する質問の回答結果

春学期の印象/変化	かなり改善	やや改善	変わらない	やや悪化	かなり悪化	わからない	総計
そう思う	5.8%	2.2%	12.0%	0.1%	0.1%	0.2%	20.4%
いづらかそう思う	1.5%	7.6%	26.3%	0.2%	0.1%	0.2%	35.9%
どちらともいえない	0.3%	2.7%	18.8%	0.7%	0.0%	0.2%	22.8%
あまりそう思わない	0.1%	1.3%	8.6%	1.3%	0.2%	0.2%	11.6%
そう思わない	0.1%	0.6%	5.1%	0.6%	1.6%	0.1%	8.1%
わからない	0.0%	0.1%	0.5%	0.0%	0.1%	0.5%	1.1%
総計	7.8%	14.3%	71.3%	2.9%	2.2%	1.4%	100.0%

(12) 否定的な回答の割合、改善の割合

これまで、10ある質問について、項目ごとに春学期の印象、春学期から秋学期の変化の回答結果を見てきました。ここでは、各項目の否定的な回答の割合を項目間で比較します。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「変わらない」、「やや悪化」、「かなり悪化」という回答を、否定的な回答（「良くなかった&変わらない・悪化」）と定義します。以下の図8は、割合が大きい項目順に、各項目の否定的な回答の割合を表しています。

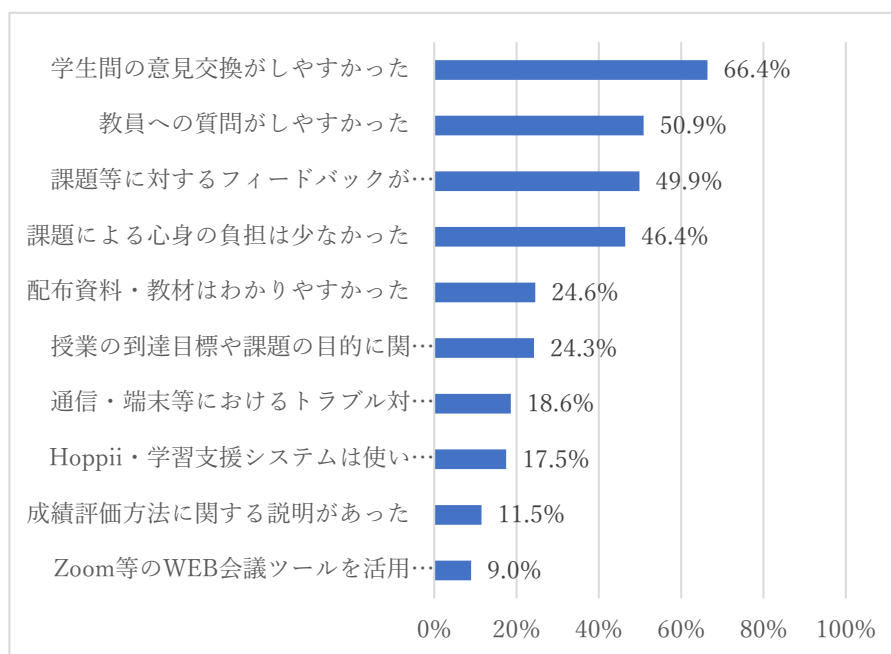


図8 「良くなかった&変わらない・悪化」の割合

「学生間の意見交換がしやすかった」、「教員への質問がしやすかった」、「課題等に対するフィードバックがあった」、「課題による心身の負担は少なかった」という4つの項目において否定的な回答の割合が46.4%から66.4%という大きな値となっています。

上記の項目ごとの分析結果が明らかにしているように、春学期から秋学期の変化の回答は、「変わらない」が多数となっていますが、項目間でばらつきがあります。上記の否定的な回答の割合が大きい4つの項目の間で、改善の割合を比較します。春学期の回答が「あまりそう思わない」、「そう思わない」かつ春学期から秋学期の変化の回答が「かなり改善」「やや改善」という回答の割合を、改善（「良くなかった&改善」）の割合と定義します。以下の図9は、改善の割合を表しています。

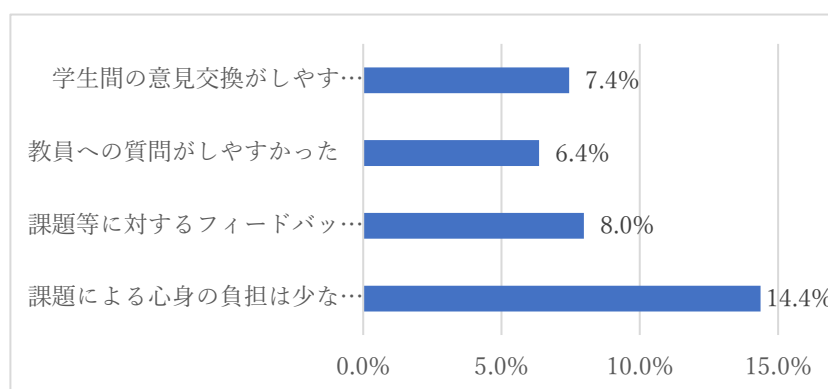


図9 「良くなかった&改善」の割合

以上から「課題による心身の負担は少なかった」という項目は、他の3つの項目より春学期から秋学期にかけての改善の度合いが大きかったことが明らかになりました。

5. おわりに

新型コロナウイルスの感染流行をきっかけに、法政大学では2020年度春学期から全学的にオンライン授業を実施してきましたが、その質の向上は喫緊の課題です。教育開発・学習支援センターの目的は「ファカルティ・デベロップメント（FD）を中心に、本学での主体的な教育改善と主体的な学習を効果的に支援すること」であり、オンライン授業の質の向上についても、有益なサポートを行ってまいります。今後とも、「オンライン授業に関する学生対象アンケート」をはじめ教育開発・学習支援センターの活動へのご協力をどうぞお願い申し上げます。

お問い合わせ：法政大学教育開発支援機構教育開発・学習支援センター (<http://www.hoseikyoiku.jp/lf/>)

事務局 学務課教育支援課 Tel: 03-3264-4268 E-mail: kyoiku@hosei.ac.jp